

# 植物で自動車や船を動かす？

## 新エネルギーシステムでエコな未来に貢献

地球規模で深刻化するエネルギー・環境問題の根本的解決には、石油系燃料に頼らない、新たなエネルギーシステムの構築が不可欠です。私は、太陽エネルギーを蓄えた植物から得られるアルコールに着目し、それらを効率良く使用できるエンジンシステムの実現を目指しています。エンジンシステムとは、燃料が燃える時に発生する熱エネルギーを、自動車や船などを動かすための原動力へ変換させる機械です。現在世界の流通の多くを支えるトラックやオイルタンカー（船）などに使われるディーゼルエンジンは高温・高圧の空気中に燃料（軽油）を霧状で噴き出すと、燃料が自然に燃え始めるという“自着火現象”を利用しています。しかし、アルコール燃料は性質上、自着火が安定的に起きにくく、実用化されていないのが現状です。私は「なぜ自然に火が着くのか？」「どのような条件で火が着くのか？」という根本的な物理化学メカニズムを解明し、アルコール燃料に適した高効率なエンジンシステムを構築することで、自然環境と工業が調和した世界の実現を夢見ています。

工学部 機械工学科 **内田 浩二** 准教授



# 崇城大学

SOJO UNIVERSITY

薬学部	生物生命学部	工学部			情報学部	芸術学部			
薬学科	応用微生物工学科	応用生命科学科	機械工学科	ナノサイエンス学科	建築学科	宇宙航空システム工学科	情報学科	美術学科	デザイン学科

〒860-0082 熊本市西区池田 4-22-1

問い合わせ（入試課直通） TEL:096-326-6810

そうじょう大学 [検索](#)